

三島駅南

# 東街区整備へ独自案

GW市民  
検討会

## アイデア集約し発表

NPO法人グラウンドワーク三島（GW三島、小松幸子理事長）は18日、市が推進する三島駅南口東街区再開発事業に関する市民検討会を市社会福祉会館で開いた。これまでに15回開いた検討会でも出されたアイデアを集約

した独自の整備計画を発表した。

専務の渡辺豊博さんが「しずおか伊豆・文化の森セントラルパーク構想」と銘打った計画を示した。劇場や世界遺産デジタルセンターなどを備えた文化施設、住居や店舗、貸

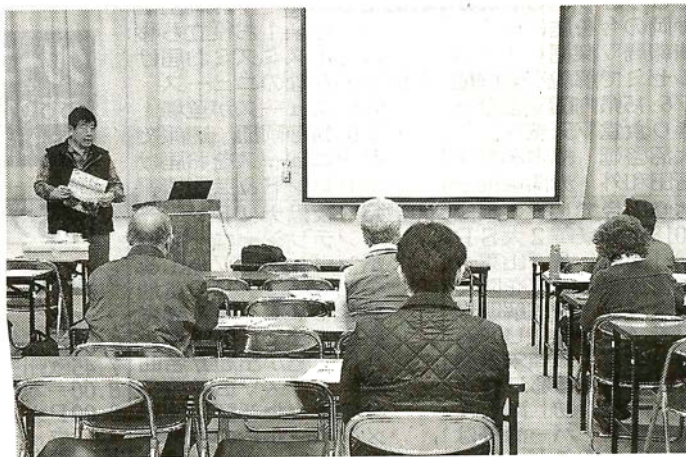
しオフィスなどが入る住居・商業施設、溶岩広場、森と水の広場などを整備する内容。普通車400台以上が止められる駐車場も設け、「土地は市から借り、駐車場が収益の

柱となる」などの考えを示した。

渡辺さんは「これを造れというのではなく、一つの提案。これから市民だけではなく、県や伊豆地区、駿東地区の住民から広域的に話を聞き、細かい内容を決めたい」と説明した。高層マンション建設を含む市の計画に対しては、地下水や

景観への影響を危惧して「なせ先を急ぐのか。市民の意見を聞きながら進めてほしい」と要望した。

平成30年（2018年）3月20日（火曜日）



三島駅南口東街区の整備計画を提案した市民検討会  
＝三島市の社会福祉会館